



令和7年9月号

作成 種差駐在所
TEL 38 - 2042

秋の全国交通安全運動について

1 期間

- 運動期間 令和7年9月21日（日）から9月30日（火）までの10日間
- 交通事故死ゼロを目指す日 令和7年9月30日（火）

2 運動の重点

- (1) 歩行者は反射材や明るい目立つ色の服装を着用し、交通ルールを守りましょう。
- (2) ながらスマホや飲酒運転はしないようにするとともに、夕暮れ時には早めのライト点灯やハイビームを活用し事故を防止しましょう。
- (3) 自転車や特定小型原動機付自転車を利用するときはヘルメットを着用し、交通ルールを守りましょう。

キノコ採りの遭難をなくそう

遭難防止のためのアドバイス

- 携帯電話は車に置かず持ち歩く
 - ・ 必ずGPS機能を有効にする。
- 山に入るとき、山に入ったら
 - ・ 1人で入山しない。
 - ・ 家族などに「行き先」や「帰宅時間」、「車の駐車場所」を知らせる。
 - ・ 携帯電話、クマよけ鈴、コンパス、食料などを持つ。
 - ・ 目立つ色の服を着る。
 - ・ 山中では声を掛け合い、目標物を決めて行動する。
 - ・ 急斜面や崖などの危険な場所は避け、早めに下山する。
- 万一、迷ったら
 - ・ 日没後は歩き回らずに、救助を待つ。
 - ・ ヘリコプターの音が聞こえたら、広い場所でタオルなどを振って合図する。



シートベルト・チャイルドシートを正しく着用しましょう

令和6年に一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が行ったシートベルト着用率全国調査の結果によると一般道路・高速道路における運転席助手席のシートベルトの着用率は、100%に近い一方で、一般道路における後部座席のシートベルト着用率は、30.2%と非常に低い状況です。

シートベルトを着用せずに交通事故にあった場合、

着用時の約15倍も致死率が高くなって大変危険です。

乗車の際は、全ての座席でシートベルトを必ず着用し、命を守ろう。